

東日本大震災復興支援ネットワーク 「こころネット」活動報告

2013.4.26~4.29 3度目の訪問！山田町(岩手県)

「こころネット」(代表:杉本ゆや)は、みえ発！ボラパックII第28便で、岩手県山田町へ行つきました。3度目の訪問となり、顔見知りの方も増えてきています。

防潮堤事業、高台住宅の用地取得、災害公営住宅などの復興関連事業がすすめられ、町は少しずつ活気を取り戻しつつあるように感じられます。しかし、当たり前だった日常を取り戻すのは、まだまだです。

山田町観光協会が、山田観光物産館「とっと」をオープン。ホタテ、牡蠣などの魚介類を販売し、新たな観光スポットにしようと頑張っています



～振り返り～
みえ発！ボラパックIIは、9月に終了しましたが、復興支援がこのままフェイドアウトしていいとは思えません。「こころネット」の新たな活動を創っていきたいと思います。

平成26年
4月1日から
スタート!!

みえ森と緑 の県民税

森林は、木材生産だけでなく、地球温暖化を防ぐ、山崩れや洪水を防止する等、大切な役割を果たしています。そこで、「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、「みえ森と緑の県民税」が新たにスタートします。

個人▶税額1,000円/年

1月1日現在で県内に住所がある方／県内に家屋敷等を有する方

法人▶税額均等割額の
10%相当額/年

県内に事務所等を有する法人等

現在
策定中!!

三重県中小企業 振興条例(仮称)

三重県内の企業60,433社のうち、99.8%が中小企業であり、従業員数でも86.3%を占めています。しかし、その多くは、グローバル化の波に押され、資金調達や事業継続、人材確保や人材育成など、多くの課題を抱えています。今、策定中の三重県中小企業振興条例(仮称)が、小規模事業者にも支援が届く条例となるよう取り組んでいます。

県政・県議会に対してのご質問やご意見をお待ちしています。

杉本ゆや事務所 (各地域で行われる行事などにもどんどん声をかけてください)

〒514-0003 津市桜橋2丁目142 TEL 059-226-6252 FAX 059-227-7139

■「杉本ゆや」で検索するとホームページをご覧頂けます。



発行責任者／三重県議会議員 杉本熊野

新しい年が始まりました。

昨年は、第62回「神宮式年遷宮」遷御の儀の年にあたり、国内外から1000万人を超えるお客様が、三重へ伊勢へお越しいただきました。また、今年は、「熊野古道世界遺産登録10周年」を迎えます。さらに多くの方に訪れていただき、「美しくて三重」が、より一層にぎわいますよう期待しています。



「三重テ拉斯」が東京・日本橋にオープン！

2013.9.28

三重は、「海の幸」「山の幸」に富み、東西の人と文化が交流し合う、恵み豊かなところです。この豊かさが、地域の皆様の暮らしにゆきとどくよう、頑張ってまいります。

今、格差社会の拡大、社会保障制度の充実、エネルギー・環境問題、外交の問題等、平和な未来社会をどのように描いていくのかが、大きく問われる時代となりました。

現場の声をしっかりとらえ、地域の皆様との議論を深めながら、笑顔あふれる未来をめざして、取り組んでいきます。

今後とも、ご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

あるく！きく！ 活動報告 Vol.4

県内外の調査や地域を歩くことで、
より、多くの皆さんと対話をし、
県政の課題をつかむ活動です。

新エネルギー等を活用した地域活性化、 産業振興を調査してきました。

2013.11.11

H24年7月から「再生可能エネルギー電気の固定価格買取制度」が始まり、太陽光、風力、木質バイオマス、小水力など新エネルギーの活用が全国で進められています。私は、「新エネルギー等活用調査特別委員会」に所属し、その可能性を調査しました。



三重県初の木質バイオマス発電所 2014年秋、松阪市に完成予定！

木質バイオマス発電とは、山の間伐材などで作ったチップを燃やして発電する火力発電所です。松阪市に建設予定のバイオマス発電所は出力50000キロワットで、一般家庭約一万世帯の電気をまかなえる予定です。これまで山に放置され、山荒れの原因となっていた間伐材の活用によって、森林整備が進み雇用拡大につながることが期待されています。



未利用間伐材を燃料に。

防災の日常化を!!

Disaster prevention

みんなの声や想いを
議会に届けています!!



防災の視点でまちを歩く！

2013.8.25 修成地区
「防災タウンウォッチング」に参加！

2013.9.30
「防災タウンウォッチング」で、
皆で気づいたことを一般質問！

【自動車による津波避難の検討を！】

みんなの声

大きな地震の直後、国道23号は、車で避難しようとする人がいっぱいです、渡れるだらうか？

質問しました！

東日本大震災では、自動車で避難したので助かった命と、自動車で避難したため失われた命があった。自動車による津波避難についての検討を！

答弁

「徒歩による避難が原則」であるが、地域の実情に応じて、また、要援護者対策として、自動車による津波避難の方策を、地域で十分に検討していく必要がある。



県道に海拔表示を！

みんなの声

海拔表示が少ないなあ。
もっと目立つ海拔表示をしてほしい。

質問しました！

県道に、防災意識が高まるようなメッセージ性の強い海拔表示をしてほしい。

答弁

設置場所や表示内容を市町と調整し、
設置にむけ検討する。

設置予定です!!



災害時、在宅患者はどこへ避難すればよいのでしょうか？ 2013.9.30

ご家族の声

医療的ケアの必要な遷延性意識障害の息子さんを、両親が交代で日夜24時間体制で在宅介護している方からの声です。

災害時に、在宅患者は、どこへ避難すればいいのでしょうか？受け入れてくれる病院や施設が必要です！

質問しました！

人工呼吸器装着、酸素療法、吸痰等の医療的ケアが必要な在宅患者への災害対策は未整備です。災害時医療体制の整備にむけ、まずは、遷延性意識障害者の実態調査を行うべき！

答弁

医療機関等の関係機関との調整も図りながら、実態調査を検討します。

遷延性
意識障害
とは

事故や病気による脳の損傷が原因で、重い意識障害が長引き、自力では移動や食事などができず、意思疎通もほとんどできない状態が長引く症状。家族による昼夜の在宅介護も多く、災害時対応含め、さまざまな困難さを抱えています。

実態調査の準備が進められています。行政による調査は全国初です。

実施決定!!

大学生が消防団に参加！

(津市総合防災訓練)

2013.11.24



三重短期大学の学生たちが、機能別消防団員として訓練を受け、活動しています。「防災の知識は、毎日の生活に役立ちます」と、やる気いっぱいです。

海岸堤防の早期整備を！ 2013.11.30

■ 河芸町の老朽化した海岸堤防



伊勢湾沿岸の海岸堤防は、築堤後50年以上たち、ひび割れや浸食が進み、南海トラフ巨大地震による影響が心配されています。平成23年度までに香良洲、贊崎の堤防が整備され、栗真町屋、阿漕浦・御殿場が新規事業として着手されています。さらには、未着手である白塙・河芸地域において、海岸堤防の早期整備を求める住民の声が大きくあがっており、今後しっかりと取り組んでいかなければなりません。

東日本大震災被災地支援の活動を三重の子どもたちへ！ 2013.10.4

「こころネット」のボランティア活動の様子や私の思いを子どもたちに伝えてきました。子どもたちからはたくさんの質問を受け、被災地支援の心強いパートナーだと感じる授業でした。



HAPPY MIE PROJECT
2013.8.16~23
ブラジル・サンパウロ州視察調査

三重県人移住
100周年を迎えた
ブラジル連邦共和国を、
鈴木知事はじめ、
総勢66名のブラジル
訪問団の一員として、
訪問しました。



●三重県とサンパウロ州とのこれまでの「友好交流」から、産業や観光の連携、環境問題の克服をはじめとする「経済交流」へと発展をめざしています。●ブラジルは、2014年のサッカーワールドカップ、2016年のリオデジャネイロオリンピックの開催国であり、今後の経済成長が見込まれます。

●また、世界最大の日系人コミュニティのある親日国です。●今回の訪問を契機に、ブラジルへ海外展開する県内の中小企業があります。一般質問(9月30日)では、県としてのフォローアップを強く求めました。より一層の経済交流が進むよう取り組みます。

2013.10.15
サンパウロ三重県人会が千里ヶ丘小学校を訪問しました